

政治資金残りと

68,441円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	50,917円
印刷代（ビラ印刷代）	20,962円
交通費（駐車場、燃料代）	7,140円
通信費（携帯電話）	5,774円
会場費差額	600円
寄付 マエダ様、自己資金	-52,000円
合計 02/6/3～02/6/30	-17,524円
寄付は、さがみ信用金庫 大田支店出張所 普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで	

市政を考える

月刊武松

発行日
02/7/1

第34号

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

渋滞してるのに平塚の情報？

交通情報板は誰のためにあるのか！

車を運転したり、駅を利用すると色々な矛盾を感じることがあります。これはおかしいとか、もう少し工夫すればいいのに・・・そんな観点から6月定例会で一般質問しました。

週末に国道1号線を東京方面へ走っていると、浜町の山王橋の手前の交通情報板には、**国道134号高浜台渋滞中**と表示されている事が多いのはご存知の方も多いと思います。

国道1号線の橋インター入口付近から酒匂まで4km近く渋滞しているのになぜ平塚の渋滞情報が表示がされているのでしょうか？ 情報板は、横浜や都心からの観光客のためにあるのでしょうか？

こうした不正確な表示が、週末の小八幡国府津付近の渋滞を助長させ、都心ナンバーの車が抜け道として生活道路に入ってくることを増やしているのではないのでしょうか？

小田原駅東西自由連絡通路が、平成16年3月完成に向け、順調に建設が進んでいます。この通路が完成すれば、完全バリアフリー対応になると思っていたのですが、今回の工事にはホームの改修が含まれていないことがわかりました。ホームと電車の床の高さは現状のまま（車椅子の方が自力乗降できない。）ということです。

通路だけバリアフリーになっても電車やバスの乗降に介助が必要では、かえって混乱を招きます。以下に質問項目と答弁の概要を示します。

1 通過交通と一般交通の分離について

（1）一般道路上の情報板の設置目的について

（2）情報板に一般道路の情報提供を掲示することはできないか

市長：国土交通省横浜国道工事事務所へ要請するとともに、既に県警と道路公団では協議が始まっているが、システムの整合や手続きなどで時間がかかっている。

2 小田原駅東西自由連絡通路の開通に伴う施策について

（1）ホームと車両の床の段差について

市長：鉄道事業者が対応することであるが、鉄道車両の種類や乗車人数によって床の高さが変化することから、現状より段差を少なくすることは困難なため、当面は駅職員の介助で対応する。県鉄道輸送力増進会議等を通じ鉄道事業者へ働きかける。

（2）駅周辺店舗等のバリアフリー化を促す施策について

市長：事業者に強制力を持って促進させることはできないが、「誰もが安心して利用できる。」「誰もが安心して移動できる。」そういう駅前、まちにしていきたい。

（3）基本構想策定の進捗状況について

市長：交通バリアフリー基本構想策定協議会には、市民3名、ワークショップには数十名規模で市民が駅周辺のバリアフリーに対する現地調査に携わり、その結果を平成14年度末に市へ答申する予定である。その基本構想は、ビジョン21おだわら後期実施計画と整合性をもったものとなる。

バリアフリー！？

バリアフリー（車椅子等の方でも、介助を必要とせず健常者と同様に移動できる。）に対応した都営大江戸線では、次のような効果の報告がありました。

- ・1人で映画館に行くことができるようになった。
- ・全く他人を気にせず自由に移動する事ができる。
- ・事前手続きが不要となり、乗換え時間が短縮され時間的な制約がなくなった。
- ・電動車椅子で外出する際、介助者3人分の交通費と食費を負担していたが、移動の費用が減った分、他の買物ができるようになった
- ・本人が外出するようになったため、介助者（家族）の精神衛生面でもよくなっている。

CO₂排出削減！？

一般質問のデータを調べている時、小田原市内の乗用車の増加に驚きました。COP3京都議定書の基準となる**1990年に、乗用車**（普通、小型、軽乗用、軽貨物）の登録台数が**6万6403台**であったものが、**2001年**では、**9万2971台**と何と1.4倍、台数で**2万6568台**も増加しています。（人口は約6500人増加）

乗用車の1台の長さを4mとすると、増加した乗用車数だけで長さ106.27km！小田原から東京

ディズニーランドまでが100km弱ですから、それ以上の距離になるわけです。

CO₂の削減＝乗用車の削減 というわけではないのですが、乗用車を3割近く削減しなければならなかったら、我々自信の生活を大きく変えなければなりません。

自動車通勤を止め、買物は自転車や徒歩で・・・道路が空いて・・・バスが時刻どおりに来て、本数も増え・・・

日本が京都議定書を批准するという事は、我々自身が今の生活スタイルを相当大きく変えなければならぬということなのです。

The Voice 今までに頂いたご意見から

地元の保育園に入れない！？ 市内在住 30代 男性

国府津学区には、2つの私立保育園しかなく、申込み状況を確認したところ共に、とても入園できる状態でないことがわかりました。自分が卒園した保育園でもあるし、小学校入学時に地元から顔見知りの友達がいることは、ごく自然なことですし、だから新入学といった環境変化にも子供たちが自然に対応できるのだと思います。

こうしたことが実現できないのはどうしてなのでしょう？ もし他の学区から入園しているのが多いのであれば学区制を引くなり、行政側の対処が必要ではないのでしょうか。 両隣の学区には市立幼稚園があり空もあるとも聞いていますが、これには学区制があり、国府津学区から入ることができません。こんな不公平があってもいいのでしょうか？

表1：国府津学区内の入園予定者数
入園予定者数 H14.1.28現在

保育園や幼稚園の入園の問題は深刻です。希望も「〇〇幼稚園に入りたい。」や、「地元の園であればどこでもいい。」というものまで色々あるのですが、保育園を取り巻く状況が最近大きく変わっていますので募集に関するものだけ示します。

- ・1クラスの定員が上位法により減らされた。
- ・共働きが増え、幼稚園より保育園の要望が増えたため、保育園の入園審査が厳しくなった。
- ・保育園の0歳児や1歳児の入園が増え、3歳児、4歳児の募集枠が非常に少なくなった。

ちなみに昨年の国府津学区で4歳児の入園予定数は1名だけでした。学区優先の措置が取れるよう行政に働きかけます。

	国府津 保育園	石塚 保育園
5歳児	1名	0名
4歳児	1名	0名
3歳児	4名	3名
2歳児	4名	5名
1歳児	8名	7名
0歳児	7名	10名

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：7/20（土）18時～

場 所：参加希望者はメール又は携帯まで連絡下さい。通知致します。

テーマ：「ビール片手に小田原を語ろう！」

どなたでも自由に参加できます。参加希望の方は、私の携帯まで着信通知有りで連絡ください。



URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

I-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシでも受付けております。

月刊武松は本人が配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、eメールでも送付していますので連絡下さい。